

## 「幸 せ」

堀江 紀子

「幸せって何だっけ、何だっけ？………があることさ」。このコマーシャルのフレーズを覚えておられますか？幸せって、もしかしたら目の前にある本当にささやかなことなのかもしれません。

かつてテレビで、インドから来られた方が、「日本人はとてもかわいそう」と言っておられたのをふと思い出しました。インドはカースト制という身分制度が今も色濃く残っている国です。その方は「インドには多くのカーストがあり、そのカーストごとに目指す頂点がある。だからそれぞれ数え切れないほど多くの幸せがあるのに、日本人はみな同じ頂点を目指すから、不幸の数ばかりが増えてかわいそう」と言うのです。もちろん、このカーストには問題があるように思いますが、問題をこの幸福観に止めるならば、いろいろと考えさせられることもあるように思います。日本でも、今のような社会になる前は、決して高望みすることなく、ささやかな幸せを求め、与えられていることに満足することも多かったように思います。

今学校では、自分に最も適した高い目標を持つようにと指導します。それによって、どこかにもっと大きな幸せがあるはずだと探しまわる青い鳥症候群が溢れました。しかしこれでは、インド人でなくても“かわいそう”と言いたくありませんか。

昨年、京都の本山参拝に参加してくださった門徒の方々が口々に、「今年も参加できたことだけでありがたいことです」と言っておられるのに、思わず合掌しました。